

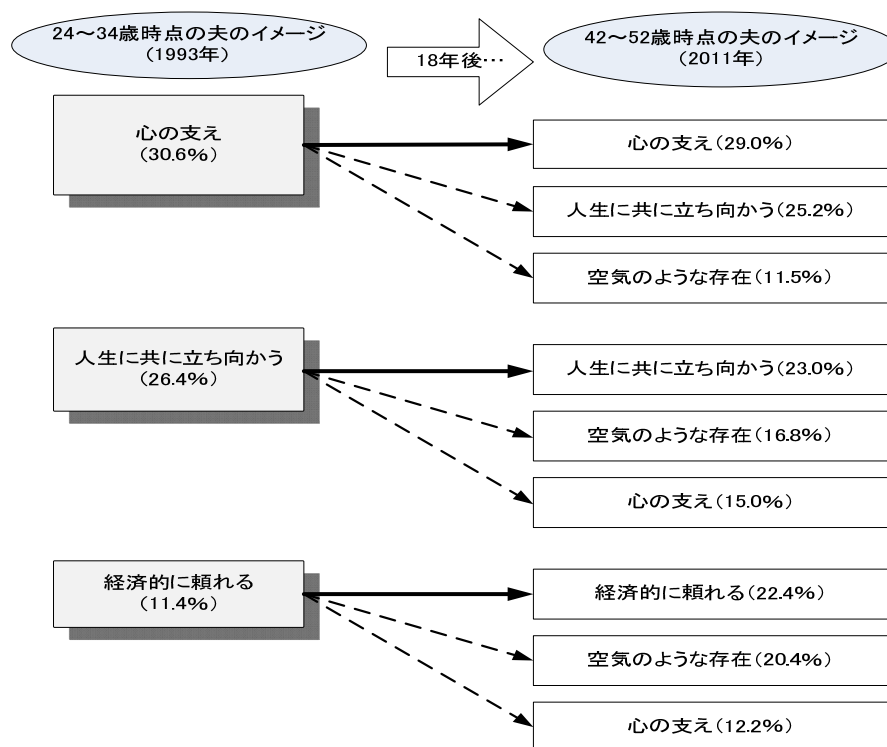
### Ⅲ. 夫のイメージと夫婦関係満足度の変化

#### (1) 意外に変わらない、妻にとっての「夫のイメージ」

「消費生活に関するパネル調査」では、1993年の初回調査の際に、「ご主人はどのような存在か」という質問を行っている。当時24～34歳だった妻たち（428人）に、夫のイメージを16の選択肢から選んでもらったところ、多かったのは「心の支えになる人」「人生に共に立ち向かう人」「経済的に頼れる人」であった。

2011年の調査では、まったく同じ質問を、42～52歳になった妻たちに尋ねてみた。すると、かつて「心の支えになる人」を挙げた人は、今回も「心の支えになる人」を選んでいることが多かった。「人生に共に立ち向かう人」「経済的に頼れる人」も同様に、約20年経っても、結婚当初の夫のイメージと変わらない妻が多いことがわかった。その一方で、夫が「空気のような存在」であると答える妻が増えていることも確認された。

図表Ⅲ－1 調査開始時と現在の夫のイメージ



【備考】 夫のイメージの選択肢は以下の通り

1. 親しい友人、2. 人生に共に立ち向かう、3. 一心同体、4. 趣味を共有、5. 経済的に頼れる、
6. 父親のように保護、7. 心の支え、8. 性的に魅力、9. 子どものように甘える、10. 空気のような存在、
11. 可愛い、12. 家事・育児に協力的、13. 世話がやける、14. 自由を束縛、15. 経済的に頼りない、
16. そりがあわない。

(2) 「空気のような存在」の夫に、妻は不満？

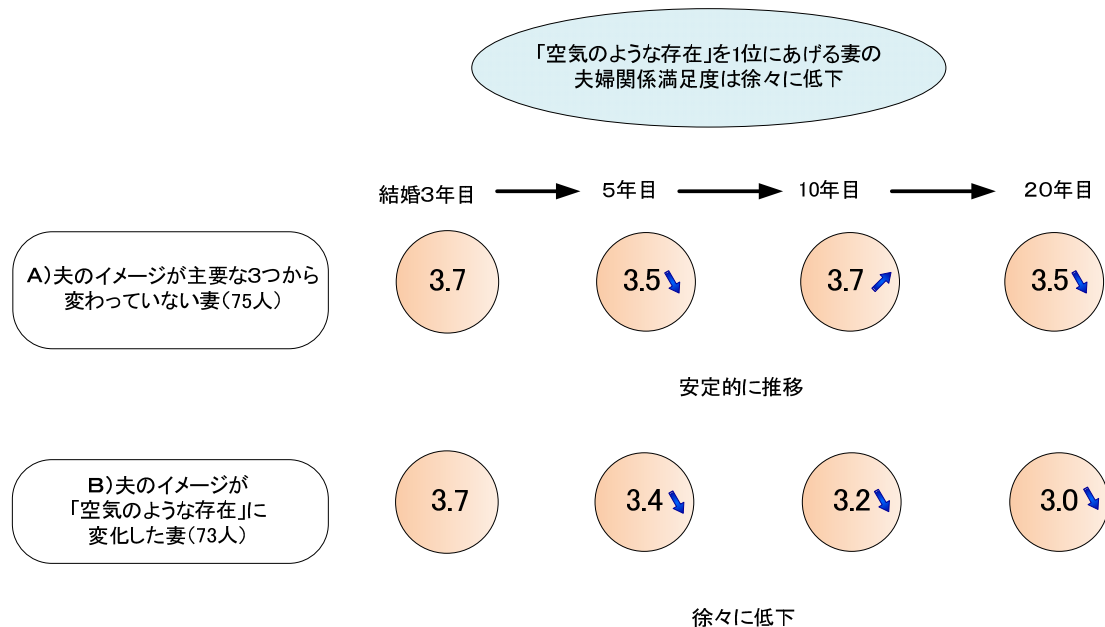
前項でみたとおり、結婚してから時間が経過する中で、妻の中には、夫のイメージとして「空気のような存在」を選ぶようになった人も増えているが、そのようなイメージの夫に対して、妻は不満を抱いているのだろうか。

ここでは、妻の夫婦関係に対する満足度（5段階評価）が、結婚して年数が経つ中でどう推移するかを調べてみた。特に、A) 1993年・2011年の2回とも、夫のイメージとして「心の支え」「人生に共に立ち向かう」「経済的に頼れる」のいずれかを挙げているグループと、B) 「空気のような存在」に変化したグループに分けて、夫婦関係満足度を比較した。

どちらのグループも、結婚当初の満足度に差はない。しかし、Aのグループは、若干の上下はあるものの、その後は安定的に推移している。他方でBのグループ、つまり夫のイメージが「空気のような存在」に変化したグループでは、結婚して年数が経つにつれ夫婦関係満足度が徐々に低下している。

Aのグループでも、夫が“空気のような存在”かどうかと尋ねれば、2011年の調査では約半数は肯定している。夫が「空気のような存在」であることは、満足度に関わりなく日本の夫婦関係の特徴のひとつであろう。しかし、夫の主たるイメージが「空気のような存在」であると、夫婦関係には黄色信号が灯るようである。

図表Ⅲ－２ 夫のイメージ変化と夫婦関係満足度の推移



【備考】 夫婦関係満足度は、「非常に満足している」=5点、「まあまあ満足している」=4点、「ふつう」=3点、「あまり満足していない」=2点、「まったく満足していない」=1点として、平均点を求めた。